

## 8-1-9 広報専門委員会

### 1. 広報専門委員会の概要

広報専門委員会は、広報戦略委員会の下部組織として、広報戦略委員会で検討した年間活動方針等に基づき活動している。

戦略的な広報活動の実践のため、専門委員会内に以下のWGを設け、具体的な活動を進めた。

#### (1) 建設関連業イメージアップ促進協議会

国土交通省建設市場整備課の呼びかけに基づき、全測連・全地連と連携して協議会を組織し、事務局を担当する。活動内容は、主として大学・高専等への説明会の開催。

#### (2) 学生講座WG

学生に向けて、建設コンサルタントへの理解を深める広報活動を検討、実施する。建設コンサルタントの社会における役割や重要性、魅力を伝え、職業として目指してもらえようような活動を企画。

#### (3) 一般・社会人広報・ホームページWG

社会人を対象とする広報活動の検討、実施と一般・社会人向けの具体的な広報ツールを制作。また、協会ホームページの運用等に対して改善策を企画提案。建コンフォト大賞入賞作品を活用したカレンダーの制作。

#### (4) 協会イメージアップ企画WG

小学生・中学生を対象とする広報活動を検討、実施。『暮らしの中の土木』として、コンサルタント、協会のイメージアップ活動を企画。

### 2. 主な活動の記録

#### (1) 専門委員会の開催

隔月で専門委員会を開催することとし、令和4年度は、5、7、9、11、1、4月の6回を開催。

#### (2) 建設関連業イメージアップ促進協議会

平成24年度から活動を開始。全国の大学・高専の対象校をリストアップし、4回のオンライン方式による業界説明会を開催した。説明会は中央工学校、八戸工業高等専門学校、秋田工業高等専門学校、摂南大学で実施し、受講者数は計175名であった。

#### (3) ワーキング(WG)による活動

##### a) 学生向け業界説明会資料の制作

各支部が実施する学生向けの説明会で建設コンサルタントの仕事の内容や魅力を伝えるパワーポイント資料について、令和4年度の建コン白書等を参考に新しいニーズへの挑戦や若手・女性技術者の活躍、就業環境の改善などの更新を行った。

##### b) 建コン協カレンダーの制作

第12回建コンフォト大賞の入選作品を活用して建コン協カレンダー2023年版を制作した。今年は新たにグリーンインフラ特別賞2点が追加となり15点で制作、10月に2.32万部印刷発注し、12月に支部へ配布した。

##### c) リクルート動画の検討

YouTube公開が可能なリクルート動画についてイメージ先行動画と3人のモデルが登場する具体的な内容の動画の2案を検討した。本委員会、広報戦略委員会で意見交換を行ったところ、具体的な内容の動画でかつモデルを起用せず実際の社員で撮影することを希望する意見が多く、引き続き11月の完成を目指し検討を進めることとなった。

##### d) JCCAユニフォーム夏季モデルの検討

イベント時等に着用するJCCAの夏季ユニフォームについて年度始めに各支部にプレアンケートを行った。次年度に改めて正式な意向調査を行い、検討を行う。

##### e) 「土木×落語」の企画(新作落語制作)

2020年にYouTubeにて配信を行った「土木落語」第一弾「水屋の夢」に続き、第二弾となる「パパは建設コンサルタント」を柳家小きん師匠に制作いただき動画を撮影した。また建コンで働く社員と小きん師匠との対談動画「建設コンサルタント座談会」もYouTubeにて公開した。

2022年10月には九州建設技術フォーラムで、柳家小きん師匠が古典落語と共に土木落語の口演を実施。リアルで300人が参加した。

(広報専門委員会委員長 土井 和広)